



下水道による水質保全と雨天時浸入水対策および資源活用

- 琵琶湖の水質保全や安全、安心なまちづくり、さらに下水道資源の有効活用を進めるため、下水道事業に係る国費の総額を確保した上で、下記の取組を推進されたい。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 下水道施設の整備・更新等に対する財政支援の充実

- 下水道施設の計画的な改築更新に対する必要な予算額の確保
- 汚水処理の広域化・共同化に対する財政支援
- 大雨や地震等の災害への備えに対する財政支援

(2) 雨天時浸入水対策および下水道資源の有効活用に対する支援

(3) 防災・減災、国土強靱化の着実な推進に向けた予算の継続的な確保

2. 提案・要望の理由

○ 下水道施設の計画的な改築更新

琵琶湖総合開発事業で施設を集中的に整備したことにより、耐用年数を超過した機械・電気設備が急増しているため、計画的な改築更新に対する予算額の確保が必要

○ 汚水処理の広域化・共同化

汚泥の集約処理、農業集落排水施設の下水道への接続等により効率化を進めているが、さらなる経営の安定化のため、広域化・共同化への財政支援が必要

○ 災害への備えに対する支援

近年、集中豪雨が頻発しており、また、今後、大規模地震の発生が予想される中、国土強靱化を着実に進めるため、雨水対策や地震対策への財政支援が必要

○ 雨天時浸入水対策への支援

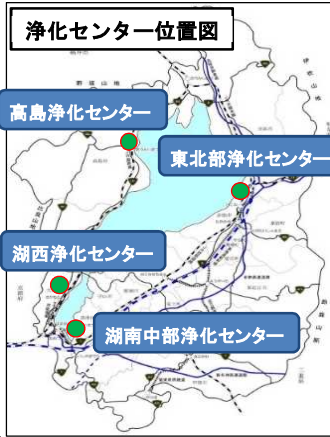
集中豪雨や老朽化等に起因する雨天時浸入水については、ガイドラインに基づく効果的な対策を推進するため、施設対策に対する技術的支援が必要

○ 下水道資源の有効活用への支援

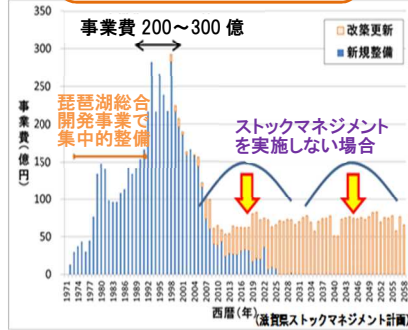
未利用となっている下水道資源を有効活用し、さらに水草等の地域資源と合わせた循環利用を構築するため、エネルギー利用や農地利用にかかる支援が必要

(本県の取組状況と課題)

(1) スtockマネジメント計画に基づく改築更新



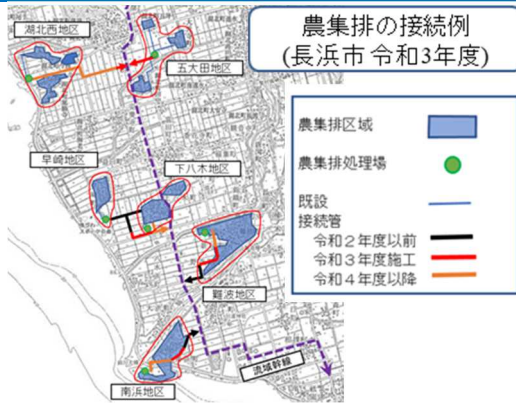
新規整備+改築更新で約70億~80億円/年の事業費が必要!



水処理施設更新工事 R1~R4 57.5億

腐食等により躯体が劣化

(2) 汚水処理の広域化・共同化



広域化・共同化による下水道経営安定化

(3) 災害への備え

浸水被害の例

(野洲市 平成 25 年 9 月台風 18 号)



平常時



浸水時

安全・安心な暮らしの確保

(4) 雨天時浸入水対策への支援

- ・ 湖南中部処理区で溢水被害が発生 (H25)
- ・ 県・市町による不明水対策検討会を設置 (H26)
- ・ 県・市町ごとの不明水対策実施計画を策定 (H29)
- ・ 発生区域の効率的な絞込み手法などを検討し、市町の取組みを推進するための県マニュアルを策定 (R1~R3)

※本県流域下水道は処理区域が広大であり、対策には膨大な費用と期間が必要なため、支援が必要。



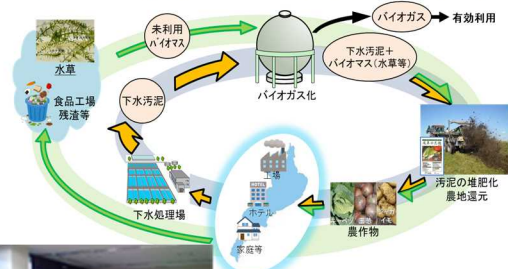
H29 台風 21 号 東近江市内

不明水対策検討会 R2. 8. 20



(5) 汚泥有効利用への支援

- ・ バイオマス関係部局との連携を図る「琵琶湖バイオマス循環プロジェクト」を実施 (R1~)



第4回勉強会 R3.3.25

「下水道Eネギ+拠点化コンサルジェ」制度(国土交通省)を活用 (R1) BISTRO 下水道推進戦略チーム会合開催県 (R2)

※水草と下水汚泥との混合処理、コンポストの利用先確保等にかかる技術的支援が必要。

担当：琵琶湖環境部下水道課施設管理・建設係
TEL 077-528-4221